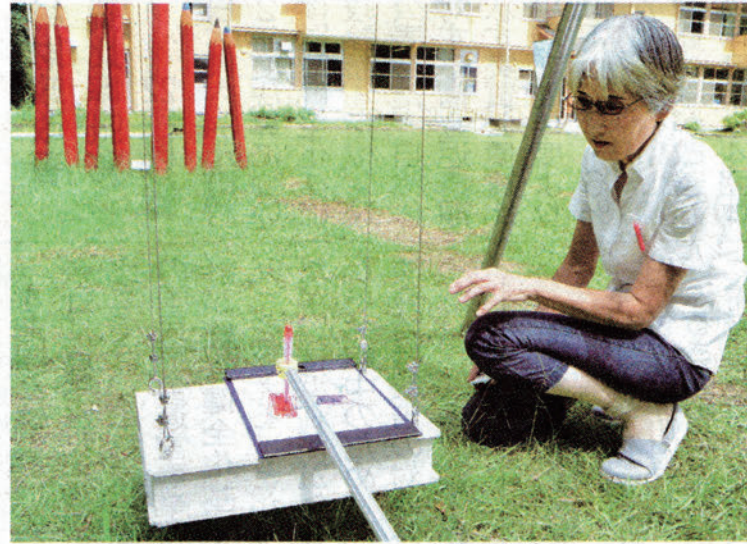


## 体験できる現代アート



不思議な模様が描かれる様子を体験できる  
現代アート展（大月町小才角のCOSA）

### 23日まで大月町 10 作品展示

【宿毛】大月町小才角の旧小才角小学校を改修した創作・交流拠点「COSA」で現代アート展「未来を立ちあげる 広げる」が開催されている。学びへの趣を残す会場には、アーティスト6人のユニークな発想が具現化された作品10点が点在。一部を体験しながら鑑賞できる。23日まで午前10時～午後4時、入場無料。校庭に設置された「In to the Vastness」は、チエコ出身のシユヴァーブ・トムさんが

手がけた体験型の作品。専用の器具に赤や青などのカラーペン装着し、つり下げられたブロックに紙を置く。ゆらゆら揺らすと、どこか美しく、どこか不思議な模様が描かれていく。COSA内で公開制作された「Endless Summer」終わらない夏」は、遊んでいる子どもたちの笑い声などを室内に流す音声作品。ただ、室内に足を踏み入れるとセンサーが感知して声が止まり、静寂が訪れる。作者の京都

市立芸術大学准教授、安藤由佳子さん(51)は「かつて笑い声であふれていた場所。懐かしさと一緒に、過疎へも思いを巡らせてほしい」と話す。

16日にはロープや分度器などさまざまな形をした物を投げる、風変わりなワークショップを実施。主導した佐俣和木さん(28)は「自分の体の新しい使い方を発見してほしかった」といい、主催する「Tlart」の河原木憲彦さん(71)は「形のない『発見』もアート。『これは何だろう』と自由に考え、刺激を受けてほしい」と話していた。

(坂本 出)